

[31]九州文化史研究所紀要表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7183275>

出版情報：九州文化史研究所紀要. 31, 1986-03-25. Kyushu Bunkashi Kenkyusho, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

九州文化史研究所紀要掲載論文一覧

◇九州文化史研究所紀要・1号

昭和26年3月

〔対馬の史的研究〕

森 克己 中世末・近世初頭における
対馬宗氏の朝鮮貿易

宮本 又次 対馬藩の商業と生産方

檜垣 元吉 対馬に於ける奴隸と被官

喜多野清一 対馬村落の研究(一)——
対馬西岸旧神社領村落の社会構
造——

竹内 理三 対馬の古文書
——慶長以前の御判物——

宮本 又次 九州経済史に於ける特殊構
造——対馬経済と九州経済——

◇九州文化史研究所紀要・2号

昭和27年3月

〔天草諸島の史的研究〕

檜垣 元吉 近世天草の人口問題とその
背景

古野 清人 文化年間における天草のキ
リシタン

宮本 又次 天領天草の商業と問屋

森 克己 天草の海外出稼女の研究

岡崎 保 物資の移出入をつうじて見
たる天草の経済事情

高田 源清 天草漁村の実体調査——特
に下島西海岸及び北海岸地
帯——

竹内 理三 肥後の古文書(一)
——慶長以前——

◇九州文化史研究所紀要 3・4合併号

昭和29年3月

〔天草諸島の史的研究・続篇〕

檜垣 元吉 近世天草に於ける農民運動
内藤 莞爾 天草村落の社会動態——第
一部——

舟橋 諄一
青山 道夫 天草島における家族制度
中川 高男

〔共同研究・天草郡御領村石本家の研究〕

宮本 又次 天草石本家研究の意義と九
州在郷商業資本の性格

吉田 道也 石本家略史

服藤 弘司 石本家と寛政八年の「百姓
相続方仕法」

藤本 隆士 石本家の土地経営——文化
十二年を中心として——

篠藤 光行 村方商人の性格と製蠟業

大村 要子 近世長崎における貿易業

秀村 選三 石本家の経営形態に関する
一考察

研究所編 石本家文書目録抄

竹内 理三 肥後の古文書(二)
——慶長以前——

◇九州文化史研究所紀要・5号

昭和31年3月

古野 清人 生月のキリシタン部落
——特にその祭祀組織につい
て——

秀村 選三 近世大名領国における夫役
の諸形態——福岡藩につい
て——

箭内 健次 長崎貿易仕法改変の意義
——とくに市法貨物商法を中心
に——

武野 要子 舶来品市場における幕府独
占機構崩壊に関する覚書(上)

——九州諸藩の市場進出をめ
ぐって——

竹内 理三 筑前の古文書(一)——慶
長以前——

◇九州文化史研究所紀要・6号

昭和32年9月

秀村 選三 郷土手作における畑作の態
様——幕末薩藩郷土の農業経営
と下人(二)——

三木 俊秋 領主の財政に関する一資料
桑波田 興 郷土所有地に於ける小作関
係について——大隅国鹿屋郷野
田家の場合——

喜多野清一 対馬村落の研究(二)
中村 正夫
——ソシ考——

竹内 理三 筑前の古文書(二)
——慶長以前——

◇九州文化史研究所紀要・7号

昭和34年11月

檜垣 元吉 秋月藩の島原陣屏風

三木 俊秋 佐賀藩多久領給人知行地の
一側面

森山 恒雄 近世初期肥後国衆一揆の構
造——天正十五年検地反対一
揆——

竹内 理三 筑後の古文書——慶長以
前——

○福岡藩三奈木黒田家文書目録(一)

◇九州文化史研究所紀要 8・9合併号

昭和36年3月

[創立25周年記念論文集]

長沼 賢海 油座の一二について

新城 常三 高野山詣で

瀬野精一郎 鎮西奉行考

森 克己 薩摩藩におけるキリシタン
穿鑿

中村 幸彦 細川幽斎の文学生活
——慶長初年——

桑波田 興 大友氏家臣団についての一
考察

山田 龍雄 佐賀藩「均田制度」に関す
る覚書

服藤 弘司 「遠島」地天草

秀村 選三 近世前期肥後における「上
方抱下し者」——宇土細川藩を
中心として——

中村 正夫 肥後国天草島における漁村
の成立と展開——「舸子役」を
中心として——

作道洋太郎 九州諸藩と鴻池両替商資本
——大名貸に関する基礎的研
究——

原田 敏丸 山割制度とその変遷

藤本 隆士 村方商人石本家の帳簿組織
——天領天草御領村におけ
る——

武野 要子 糸割符史料の研究
——糸割符利潤の問題を中心
に——

岡橋 保 明治初期の正貨の打歩につ
いて——混合流通下の金銀価格
の騰落——

伊丹 正博 第十八国立銀行の貿易商人
的性格
——荷為替業務を中心とし
て——

喜多野清一 同族における系譜関係の意
味

古野 清人 筑前宗像の一家事記録

宮本 又次 黒田藩と大阪との関係史料

紹介

- 井上 忠 武谷家所蔵蘭学者書翰の紹介——長崎医学校関係——
- 三木 俊秋 佐賀藩多久領における小物成方支配に関する資料
- 竹内 理三 大宰府・博多年表 上世篇
- 箭内 健次 リスボンのトルレ・ド・トンボ文書館所蔵「モンズーン」文書所収極東関係文書目録

◇九州文化史研究所紀要・10号

昭和38年10月

- 川添 昭二 九州探題今川了俊の文学活動——中世文化論のための一素材として——
- 久保山千里 嬉野における茶業の発展過程
- 井上 忠 武谷祐之著『南柯一夢』(一)天の巻(校訂)
- 福岡藩三奈木黒田家文書目録(二)

◇九州文化史研究所紀要・11号

昭和41年3月

- [九州文化史研究施設開設記念号]
- 長沼 賢海 筑前国衛の研究
- 新城 常三 中世前期に於ける西国・東国間の文化交流とその前提
- 川添 昭二 鎌倉・南北朝時代における小式氏の所領
- 井上 義巳 藩校教育における「時務」の概念——九州諸藩の場合——
- 藤野 保 幕藩制後期における大名の財政構造
- 秀村 選三 薩摩藩における宗門手札改と一向宗禁制——幕末期大隅国高山郷について——
- 井上 忠 武谷祐之著「南柯一夢」巻

之二・地の巻(校訂)

◇九州文化史研究所紀要・12号

昭和42年3月

- 中村 幸彦 実録体小説黒田騒動の成立
- 杉本 勲 筑前蘭学事始考——青木興勝の事歴を通じて——
- 井田 好治 文化年間における長崎の西洋(蘭・仏・英)文法論
- 藤本 隆士 鯨油の流通と地方市場の形成
- 岡橋 保 銀券保証発行制度の展開(一)
- 中村 正夫 天草の村明細帳

◇九州文化史研究所紀要・13号

昭和43年3月

- 岡崎 敬 福岡市(博多)聖福寺発見の遺物について——大陸舶載の陶磁と銀錠——
- 木村 忠夫 永禄末期大友氏の軍事組織——戸次鑑連を中心として——
- 箭内 健次 寛永鎖国についての一考察
- 山室 三良 醇儒安東省菴
- 武野 要子 辺境相良藩と領外資本の関係——芋の専売化をめぐる——
- 内藤 莞爾 カトリック家族の相続慣行——長崎県黒島——

◇九州文化史研究所紀要・14号

昭和44年3月

- 藤野 保 幕末の藩政治と維新への対応形態
- 西尾陽太郎 玄洋社の成立について
- 内藤 莞爾 西九州農村の末子相続
- 中元美智子 佐々家文書について——特に海(開)運会社関係——

岡田 武彦 楠本端山書翰

——楠本碩水宛——

井上 忠 武谷祐之著「南柯一夢」巻之三・人の巻・附録（校訂）

◇九州文化史研究所紀要・15号

昭和45年3月

川添 昭二 江戸時代における元寇研究
野口喜久雄 近世における櫛樹栽培技術の成立と展開

杉本 勲 佐賀藩蘭学史の研究——精煉方の動向を中心に据えて——

藤野 保 The Political Relationship between the Bakufu and the Han

〔近世日田とその周辺地域の総合的研究〕

小田富士雄 古代の日田——日田盆地の考古学——

井上 義巳 咸宜園をめぐる政治情勢一咸宜園と日田代官府との関係——

◇九州文化史研究所紀要・16号

昭和46年3月

〔近世日田とその周辺地域の総合的研究〕

日野 尚志 日田周辺における古代の歴史地理学的研究

川添 昭二 豊後日田氏について

藤野 保 九州における幕藩領主支配の特質（一）——統一権力の九州支配と対応——

木村 忠夫 近世日田農村史の若干の問題点

長野 暹 対馬藩田代領における銀会所・生蠟会所と日田商人

安藤 保 「内平均免」を通してみた府内藩財政々策について

——天保改革の前提の考察——

◇九州文化史研究所紀要・17号

昭和47年3月

〔近世日田とその周辺地域の総合的研究〕

藤野 保 近世前期における九州天領の支配形態

武野 要子 鍋島氏の貿易に関する一、二の資料

中村 質 近世長崎における貿易利銀の戸別配当

木原 博幸 幕末における福岡藩財政改革と日田商人広瀬家

野口喜久雄 「積書」より見た広瀬家の経営

木村 忠夫 史料紹介・千原幸右衛門家日記（一）

◇九州文化史研究所紀要・18号

昭和48年3月

川添 昭二 鎮西談議所

藤野 保 幕藩制転換期における九州天領——田沼期幕政との関連を通じて——

奥村 三雄 対馬方言の性格

谷口鉄雄編 対馬美術調査概報（第一次）

◇九州文化史研究所紀要・19号

昭和49年3月

丸山 雍成 近世関所及び番所の研究（一）

藤野 保 幕藩制下における天領と藩との関係史的考察——天領日田の商業資本と九州諸藩——

黒田 安雄 薩摩藩文化朋党事件とその歴史的背景

鈴木 広 象徴としての都市とスポー

ツ感覚についての試論(上)

岡崎 敬編 長崎県・佐賀県・熊本県に
おける「古鏡」発見地名表稿

◇九州文化史研究所紀要・20号

昭和50年3月

小田富士雄 百済系単弁軒丸瓦考・二
——九州発見朝鮮系古瓦の研究
(三)——

外山 幹夫 大友義鎮の入道と府内・臼
杵

丸山 雍成 参勤交代制の研究(一)
——その序説編——

黒田 安雄 薩摩藩天保改革の基礎的研
究(一)

井上 忠 亀井南冥の役藍泉あて書簡

◇九州文化史研究所紀要・21号

昭和51年3月

[十周年記念特集号]

藤野 保 十周年記念特集にあたって

西谷 正 山門郡の考古学

田村 圓澄 大宰府前史小論

丸山 雍成 参勤交代制の研究(二)
——九州諸藩を中心として
(1)——

岡村 繁 筑前秋月藩の漢学と教学
——秋月郷土館蔵漢籍管窺——

山口 宗之 徳川斉昭小論
[佐賀藩の総合的研究]

木原 溥幸 幕末期佐賀藩の財政構造に
ついて

杉谷 昭 佐賀開進会の成立過程

◇九州文化史研究所紀要・22号

昭和52年3月

[佐賀藩の総合的研究]

藤野 保 竜造寺領国の形成過程と国

人領主の動向

長野 暹 佐賀藩財政成立過程に関す
る若干の考察(一)

井上 義巳 古賀穀堂の学政論——佐賀
藩における政治と教育の関
係——

中村 質 長崎会所と安政開港——そ
の勘定帳をめぐる諸問題——

杉谷 昭 明治初年における対外政策
と土族反乱

内藤 莞爾 五島の分牌式隠居慣行

◇九州文化史研究所紀要・23号

昭和53年3月

横山 浩一 刷毛目調整工具に関する基
礎的実験

春日 和男 幕末における九州の万葉学
——種信と広足——

奥村 三雄 九州諸方言アクセントの系
譜

[佐賀藩の総合的研究]

川添 昭二 九州探題の衰滅過程

藤野 保 竜造寺家臣団の構成とその
特質(一)——天正八年着到帳
の分析を中心として——

丸山 雍成 参勤交代制の研究(四)
——九州諸藩を中心として
(3)——

長野 暹 佐賀藩財政成立過程に関す
る若干の考察(二)

黒田 安雄 佐賀藩家臣団の構造(一)

◇九州文化史研究所紀要・24号

昭和54年3月

[佐賀藩の総合的研究]

藤野 保 佐賀藩確立期における政治

過程および政治形態

- 中村 質 島原の乱と佐賀藩
黒田 安雄 佐賀藩家臣団の構造 (二)
丸山 雍成 参勤交代制の研究 (五)
——九州諸藩を中心として
(4)——
小宮 睦之 佐賀藩川副下郷における商人地主の台頭について
—————○—————
横山 浩一 刷毛目技法の源流に関する予備的検討
日野 尚志 駅路考——西海道・南海道の場合——
外山 幹夫 西国における惣領制の特質——大友氏を中心として——

◇九州文化史研究所紀要・25号

昭和55年3月

〔佐賀藩の総合的研究〕

- 藤野 保 佐賀藩における三支藩の成立過程 (一)
池田 史郎 佐賀城と佐賀城下町の成立
黒田 安雄 佐賀藩初期の検地と知行政策
長野 暹 佐賀藩徴租法に関する若干の考察
丸山 雍成 佐賀藩における交通と商品流通 (一)
—————○—————
西 健一郎 鐘崎式土器について
佐田 茂 北部九州における群集墳の推移
楠本美智子 日田・千原家の経営とその推移

◇九州文化史研究所紀要・26号

昭和56年3月

横山 浩一 須恵器に見える車輪文叩き目の起源

小田富士雄 南朝博墓よりみた百済・新羅文物の源流

西谷 正 高麗・朝鮮両王朝と琉球の交流——その考古学的研究序説——

〔佐賀藩の総合的研究〕

加藤 章 竜造寺体制の展開と知行構造の変質

藤野 保 佐賀藩における三支藩の成立過程 (二)

黒田 安雄 佐賀藩における知行地の存在形態

丸山 雍成 佐賀藩における交通と商品流通 (二)

毛利 敏彦 明治初期旧佐賀藩出身政府官僚の統計的分析試論 (一)
—————○—————

野村 暢清 キリシタンのオラショ

○九州文化史研究施設とその所蔵史料 (1)

◇九州文化史研究所紀要・27号

昭和57年3月

西 健一郎 齊藤山遺跡出土刻目突帯文土器の再検討

横山 浩一 佐賀県横枕における大甕の成形技術——現存する叩き技法の調査——

鄭明鎬
Rodger I. Eddy
藤口健二 (訳)

韓国・甕器店の作業過程について

岡藤 良敬 造石山寺所、公文案帳の復原

丸山 雍成 高知藩における交通路と送

番所

柴多 一雄 福岡藩の天保改革
岡村 繁 対馬宗家文庫漢籍（朝鮮本）提要

〔佐賀藩の総合的研究〕

藤野 保 佐賀藩中期における権力構造と政治形態（一）

○九州文化史研究施設とその所蔵史料（2）

◇九州文化史研究所紀要・28号

〔佐賀藩の総合的研究〕

藤野 保 佐賀藩中期における権力構造と政治形態（二）

柴多 一雄 享保期における佐賀藩政の展開（一）

長野 暹 佐賀藩における水利慣行形成に関する一考察——芦刈水道をめぐる佐賀藩と支藩小城藩の交渉について——

黒田 安雄 長崎会所と藩貿易

西 健一郎 下江津湖湖底遺跡出土刻目突帯文土器の検討（一）

横山 浩一 大化薄葬令に規定された墳丘の規模について

西谷 正 九州・沖縄出土の朝鮮産陶磁器に関する予察

平田寛・菊 熊本・球磨地方美術調査概報（上）
竹淳一編

○九州文化史研究施設とその所蔵史料（3）

◇九州文化史研究所紀要・29号

昭和59年3月

〔海の中道遺跡をめぐる諸問題〕

横山 浩一 玄界灘式製塩土器（上）

山崎 純男 福岡市海の中道遺跡出土自然遺物の検討

下條 信行 弥生・古墳時代の九州型石錘について——玄海灘海人の動向——

下川達彌編 滑石製石鍋出土地名表（九州・沖縄）

西谷 正 九州出土の朝鮮産陶質土器について

〔佐賀藩の総合的研究〕

柴多 一雄 享保期における佐賀藩政の展開（二）

平田寛・菊 熊本・球磨地方美術調査概報（下）
竹淳一編

○九州文化史研究施設とその所蔵史料（4）

◇九州文化史研究所紀要・30号

昭和60年3月

〔藩政改革と明治維新〕

中村 質 初期糸割符をめぐる諸問題

丸山 雍成 有田焼の生成・発展と流通構造（一）——その若干の素描——

藤野 保 佐賀藩における藩政改革の基調（一）

安藤 保 嘉永期福岡藩における財政の諸策——広瀬立案の財政改革案をめぐる——

山口 宗之 ベリー来航予告をめぐる若干の考察

有馬 学 史料紹介・田辺納関係文書

——昭和13年の全農分裂問題
を中心に——

西 健一郎 下江津湖湖底遺跡出土刻目
突帯文土器の検討(二)

横山 浩一 玄界灘式製塩土器(中)

西谷 正 新安海底発見の木簡につい
て

○九州文化史研究施設とその所蔵史料
(5)